

歴史民俗資料館だより

はかり 秤

秤は物の重量を量る器具で、目方の単位になる錘・分銅と比較して物の目方が分かります。槌子の原理を用いる棹秤（棒秤）と天秤による平衡を用いる天秤秤とがあります。

その位置の目盛を読んで重量を量ります。

天秤秤は中央を支点とする竿の両端に皿を吊るし、それぞれの皿に量ろうとする物体と分銅を載せて、竿が水平になる分銅の重量から物体の重さが分かります。

棹秤はひとつの錘でいろいろの重量を量ることができませんが、天秤秤はいくつもの分銅を用意して、その組み合わせで平衡を求めます。

近世には、日常には棹秤が使用され、天秤秤は両替屋が金銀の計量に使用する特別なものとなりました。その分銅は大判座によって作られ、これを後



【会期】4月8日(金)~6月12日(日)
 【開館時間】午前9時~午後5時
 【休館日】月曜日
 【入館料】無料



展示中の天秤秤

藤分銅といいました。棹秤は錘との相対的な重量を比べるだけのものであるため、必ずしも錘の目方が正確である必要はありませんでした。

石ころなどでもよく、比較の基準にさえなればよかつたため、民間では適当なものを錘に

用いることが少なくありませんでした。やがて金属バネを使用したものが登場して皿秤・台秤などが用いられるようになりまし。

資料館では、明治から昭和にかけて商家で使われていた棹秤と天秤秤を『川湊を中心とした商工業の歴史』の中で展示紹介しています。

笠松町歴史民俗資料館

〒501-6052 笠松町下本町87

☎388-0161 FAX388-0185

ごみ減量化コーナー



1人一日100グラム

ごみ減量運動をはじめましょう

電気式家庭用生ごみ処理機をご存知ですか？

生ごみを約10分の1に減量するとともに、有機肥料としても使用することができます。

- ・乾燥式・・・温風によって生ごみの水分を蒸発させる
- ・バイオ式・・・微生物で生ごみを分解する

電気式家庭用生ごみ処理機の購入助成制度
 購入金額の3分の2

(20,000円を限度額として補助しています)

詳しくは、環境経済課へおたずねください。

